

平田オリザ先生の特別講演が実施されました。(5月7日)

5月7日(金)平田オリザ先生の2年生ヒューマンサイエンス類型生徒対象の特別講演が16:00~17:30に実施されました。「コンテクスト(文脈)のずれ」等難しい内容を分かりやすい表現を使って講演してくださいました。



当初ワークショップを活用して講演していただく予定でしたが、コロナの影響でパワーポイントを使っただけの講演中心になってしまいました。しかし、そのような状況においても工夫をされて、グループワークを取り入れて生徒が気軽に発言できるような雰囲気を作ってくださいました。

〈生徒の感想抜粋〉「今日の講演で印象に残ったことは？」

- 子どもが親に「今日宿題をやらなかったのに、平田先生怒らなかったよ!」と言ったとき、子どもが一番伝えたかったことは、「平田先生が優しい」ということだったということ。
- エレベーターの中で知らない人と一緒になったとき、話しかけることがマナーの国もあれば、話しかけてはいけない国もあり、文化によってコミュニケーションの取り方も異なること。
- 大切なのは「何を学ぶか」ではなく、「誰と学ぶか」ということが印象に残りました。色々な人と学ぶことによって、たくさんの考え方を知ることができると改めて実感しました。
- 「旅行ですか?」という簡単な一言を、どんな風に言うか、また誰が言うかで伝わり方が違うということを聞いて驚きました。上流階級の英国人が見知らぬ人に「旅行ですか?」と尋ねる裏にこの英国人が階級制度に疑問を感じているかもしれないなどと深読みができるということを初めて知りました。
- コンテクスト(文脈)とは、相手が何を伝えたいと思っているかということで、常に相手の言葉の意味を深く考える必要があること。